

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話 (243) 0141

22 年 10 月 23 日

**今後の市政を決める重要な選挙
必ず投票に行き意思表示をしよう**

現職に新人が挑むこととなった新潟市長選挙が、本日投票日を迎えました。私たちの願いを実現できる市政をつくるためにも、周りの人々を誘い合って投票に行くようにしましょう！

新潟市への私たちの要求

● BRTや大型公共事業などのムダ遣いをやめて、燃油や資材の高騰に苦しむ中小業者への直接支援を実現すること

● 高すぎる国民権保険料や介護保険料の引き下げを行なうこと。新型ウイルス減免の適用を市独自で柔軟にし、幅広く活用できる制度に変えること

● 消費税の税率引き下げ、インボイス制度の中止について国の言いなりにならず、新潟市として中小業者の立場に立って明確に引き下げ・中止を求めること

チェンジにいがたのお約束

- 学校給食は、無償にします。
- 子どもの医療費は、高校卒業まで完全無料にします。
- 市独自の給付型奨学金を創設します。
- コロナ禍・物価高騰に苦しむ市民に独自支援を実施。
- ジェンダー平等社会、多様性が尊重される新潟市へ。
- 農業を応援し、市独自の戸別所得補償モデルを実施。

投票率が結果を左右します
知り合いに投票を呼び掛けましょう

日程

- ・ 建設業者交流会 10月25日(火)
- ・ 北東ブロック相談会 10月27日(木)
- ・ 拡大統一行動日 10月30日(日)

継続した訪問で会外業者と関係深まる インボイスも話題に「北東ブロック宣伝行動」

北東ブロックでは16日、木戸と大形支部の役員が3名参加し、「なんでも相談会」の案内チラシと商工新聞の見本紙を持って東区の商店街などを訪問しました。津島屋の工業集積地ではインボイス制度について説明すると「外注を使っていないからうち関係ないかな」という人もいれば、「税理士に任せっきりで登録はしたものの内容についてはまるで知らなかった」など様々な反応が出されます。来年10月から実施される制度ですが、まだまだ理解されていないことが浮き彫りとなりました。石山地域では何度も訪問している成果が笑顔で出てくれるお店も。テイクアウトでの出店話や近所の開店情報などで対話が弾みます。木戸地域の飲食店では「食材の値段が上がって大変」と話し、宣伝紙を渡すと仕込みの手を止めてまで受け取ってくれます。また商工フェアで過去に参加した人も訪問。新潟市長選の話題となり「若い候補に頑張ってもらいたい」と市政を変える期待の声が出されました。



継続した訪問が民商と会外業者の関係を深めています。今後も会外業者への宣伝を強めて行きましょう。

同業種交流会・建設下請

日時:10月25日(火)PM7:00
会場:民商会館 4F 大ホール

建設業(下請)の方を対象に 2023年から開始されるインボイス制度や資材高騰など、今起きている問題について交流します。

仲間で、知恵を出し合い商売を続けるためにはどのような事が必要かを話し合います。



中小業者や市民の目線の市政に変換を 会員訪問で全会員との対話すすむ

支部役員会で市長選について議論し全会員訪問を計画。13日、15日の両日に渡辺進支部長、菅原ミヨ子共済会理事長が行動しほぼ全会員訪問が終了しました。新潟市長選挙について話が及ぶと「今の市長から何かをやってもらった実感が全くない」「コロナ禍に於いても市独自の施策が無かった」などの声が次々と出されます。渡辺支部長は「現市長は全く市民に目を向けていない。支部の集まりにいつも参加してくれている、市民目線で地元業者や福祉を重視している若い候補が市長になれば市政は改善される。民商運動も一気に躍進する。是非、周りにも勧めてもらいたい」と訴え、共感を得ていました。

菅原さんも大腸がん検診の重要性を同時に推進し運動を進めていました。引き続き訪問を重ねて会員と対話したいと支部役員パワー全開です！



インボイス制度や現市政へ怒りの声続々 中小業者のための市政を訴える

南浜支部では10日、会員訪問を実施。日本共産党の次期新潟市議（北区）候補・野村のりこさんも参加し、会員の状況や市長選の支持拡大を行ないました。

仕出し屋と居酒屋経営のAさんは「去年に比べて居酒屋の方は少し客が戻ってきたが、仕出し屋の方はコロナ禍となつてからは一度も利用されていない」と苦しい現状を話し、保温工事業のBさんはインボイス制度について「弱い立場の業者を更に苦しめる制度。国は税金を取る事しか考えないのか」と怒りの声。管工事業のCさんは大企業の誘致を重視する現市政に対し「県や市の仕事は書類が多くて大変。大企業誘致をしても中小企業には恩恵が無い」と中小企業のための政策を考えるべきと今の政治に不満の声を上げました。

市長選については「今の新潟市は何もしてくれない。若い人になんばってもらい、市政を変えて欲しい」などの期待の声が続々と聞かれました。



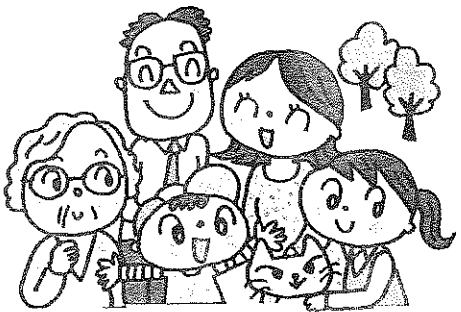
新入会員のお店で共済学習会開催 よりよい制度にするために仲間を増やそう

内野支部では13日、内野駅前で開催した新入会員のお店「やきとりさんきゅう」を会場に共済会学習会を開催しました。

萱森支部長（古書販売業）より開会の挨拶が行なわれた後、店主の吉田さんをはじめ参加者から自己紹介が行われました。

学習会では支部共済係の真島さん（電気店）を講師に新型コロナウイルス感染症に対して共済金が給付される新しい制度の説明などが行われました。

参加者からは「長寿祝金をもらうのが楽しみ」「より良い共済制度にするためにも会員を増やそう」などの話や「大腸がん検診の受診者も増やそう」などの意欲のある意見が出されていました。学習の後は1本39円と格安で美味しい焼き鳥を食べながら時間が経つのも忘れ、参加者同士親睦を深めました。



民商共済会に加入してよかった

民商共済会に入つてよかったという声をこ

紹介します。月共済会費1000円で会員・配偶者・同居家族・従業員が加入できます。

健康に自信を持っていた私が
入院する事になり年を費やすと
何かお支払い分りませぬ共済に入
つて居てお見舞金と戻るとの
嬉しい思いました病気に敷
に強つて行きます。

新潟 民商 山下 支部

この度新型コロナに
妻と二人でかかり民商共済
から10,000円の見舞金
をいただきました。
ほんとうに有りがたかったです。
共済に入つていてよかったと思つた時

新潟 民商 曾野木 支部

ぜひ、助け合いの共済会に加入をお願いします。